



週報

Rotary
東京本郷ロータリークラブ 

2018-2019 年度 国際ロータリーテーマ 「インスピレーションになろう」
東京本郷ロータリークラブテーマ 「Action! & Smile😊」

創立/平成 3 年 3 月 13 日 (1991 年)
事務局/〒 102-0072 東京都千代田区飯田橋 1-9-6-905 電話: 03-3238-5350 FAX: 03-3238-5352
インターネットホームページ: <http://www.t-hongo-rc.gr.jp> E-mail: office@t-hongo-rc.gr.jp
例会: 毎週水曜日 12 時 30 分 例会場: ホテルメトロポリタンエドモント 電話: 03-3237-1111
〒 102-8130 東京都千代田区飯田橋 3-10-8
会長: 山路敏之 副会長: 本郷 滋 会長エレクト: 井田吉則 幹事: 秋本康彦 会報委員長: 小野澤亮介

6 月 26 日 第 1322 回例会

2019 年 6 月 26 日発行 (No. 1268)

本日の例会

最終例会

点鐘: 18:30

於: ホテルメトロポリタンエドモント
2F 「薫風」

次回の卓話 (7 月 3 日)

新旧 会長挨拶

山路 敏之 直前会長
井田 吉則 新会長

6 月 19 日 第 1321 回例会報告

新旧クラブ協議会

「今年度の総括並びに申し送り事項」

幹事報告

- 6 月 17 日 (月) 新旧北分区会長幹事会が開催され、山路会長、井田会長エレクト、飯塚次年度幹事、秋本で出席しました。
- 本日 19 日「地区納めの会」が行われます。山路会長、今年度地区出向者の皆様と出席します。
- 例会終了後に「新旧クラブ協議会」を行います。主に現年度委員長より、委員会活動報告と次年度への申し送りをお願いいたします。
- 来週 26 日は最終例会です。

点 鐘: 18:30 ~

会 場: 2F 薫風の間

奥様、ゲストを同行されるかたは、お名前をクラブ事務局までご連絡のほどお願いいたします。

出 席

会員数: 51 名 出席免除者数: 4 名 出席数: 38 名

欠席数: 9 名 出席率: 80.85%

6 月 5 日修正後出席率: 82.98%

ニコニコBOX

* 飯塚貞子会員

お誕生日のお祝いありがとうございます。小山ガバナー補佐と 2 日ちがいで光栄でございます。

* 杉崎真弥会員

暑くなってきました。皆様ご自愛下さいませ。

* 星野大記会員

ハンブルグは最高でした! 報告書は今週中に提出します!

* 本郷 滋会員

会長、幹事、もうすぐ終わりですね。今年度は色々ありがとうございます。

* 埴 弘道会員

特別記念日、ありがとうございます。

* 小出 豊会員

誕生祝ありがとうございます。68 歳になります。

* 加藤利雄会員

上野 RC との合同例会での残金 7 人分をニコニコへ。

ニコニコBOX 27,000 円

累 計 1,172,650 円

本日の例会にて、

ロータリー財団寄付 5 名 87,000 円
米山特別寄付 2 名 15,000 円

のご寄付をいただきました。
ありがとうございました。

新旧クラブ協議会

「今年度の総括並びに申し送り事項」



加藤 SAA
国際奉仕委員長

井田クラブ奉仕委員長
職業奉仕委員長



長久保親睦活動委員長



星野プログラム委員長



廣瀬山山奨学委員長



澤部青少年奉仕委員長

※写真掲載はありませんが、米倉出席委員長、埴雑誌委員長、渡辺広報委員長、小野澤会報委員長、服部R情報委員長、伊藤会員増強委員長、河合職業分類委員長/クラブ研修リーダー、飯田会員選考委員長、本郷国際奉仕委員長、小出規定検討委員長からもご報告いただきました。

国際ロータリー本部より為替レート方針 変更のお知らせ

2019年7月1日より、国際ロータリーの為替レートは、毎月の初日における市場実勢相場に基づくこととなるため、事前に新しいレートをお知らせすることができません。

この変更は、世界各地の会員にとって最も正確な市場を反映したレートをご提供する最善の方法であると考えています。と、RI本部から連絡がありました。

国際ロータリー為替レートは、MyROTARYの為替レートページよりご確認いただけます。

<https://my.rotary.org/ja/exchange-rates>

「上田 晋会員、田上睦深会員のご入会、 心から歓迎いたします。印象深いつぶやき」

近藤博隆会員

1991 / 平成3年3月13日創立のわがクラブであることを、私はこういう機会に思い浮かぶのです。

それぞれが職業人として万事多忙のなかでのロータリークラブ活動のメンバーになられた、わが本郷RCの面々と毎週例会への参加に精を出していただきたいのです。

そして、気安く雑談上手にはげみましょう。特のお二人のご名字を並べて印象深いのは何でしょうか。私は直ぐにこんな風に思い込んだのです。即ち、

上	田	会員	縦横、如何でしょうか。
田	上	会員	

改めて心から歓迎し、例会ご出席毎に親しくなり、1時間同じ食事メニューをいただき、遠慮なく気軽にお話したいものです。

私が最年長ゆえに、そして東京本郷RCのメンバーである、おかげで健康元気でありがたいと思い、つぶやいてしまったのです。

以上

2019年 国際ロータリー ハンブルク国際大会 出席レポート

2019年6月2日国際ロータリーハンブルク大会に、加藤会員、小出会員、本郷会員と星野の4名で、出席して来ました！

以下、主なスケジュールと概要をレポート致します。

5/30 木曜日朝 10時30分羽田空港国際線

我々4名はゴルフクラブをお供に集合し、ルフトハンザ航空ビジネスクラスにて先ずはミュンヘンへ
時差は7時間、約12時間のフライト

ビジネスクラス、横になれて嬉しかった。たまたま飛行機内で第二次世界大戦関連の映画を2本、当時の英国首相ウィンストン・チャーチルの映画と、ドイツ軍の暗号解読とコンピュータの生みの親でもある天才チューリング博士の映画を観ることができて、ドイツ・戦争と平和・国際ロータリーの関連を感じた。

現地時間17時35分ミュンヘンに到着。持ち込んだiPadが壊れた備え付けの引出しから出せないトラブルを本郷さんの協力で乗り越えて無事入国。トラブルのせいでビジネスクラスの優先出場の機会を損失し、入国審査がめっちゃくちゃ混んでいて、審査官のマイペースぶりにドイツ人の国民性を感じながら、乗り換えのフライトにギリギリ間に合い目的地ハンブルクへ。

～ハンブルクという都市について～

人口約174万人

ドイツ最大の港湾商業都市であり、ドイツ北部の経済の中心地は、美しい水の街であり、市がまるごと州にもなっていて、正式名称は「自由ハンザ都市ハンブルク」、ベルリンに次いで人口の多い、ドイツで2番目に大きい都市。

なお、「ハンザ」とは、12世紀に始まった加盟都市の貿易推進を目的としたヨーロッパの商業都市同盟で、特にハンブルクとブレーメンは、街の正式名称に「自由ハンザ都市」の名を冠し、かつての同盟の名残を伝える。

エルベ川の河口から約100kmも上流に広がっているため、荒波の被害を受けづらい地理的メリットから特に12世紀頃から急速に港湾商業都市として発展し、現在は、ドイツ国内では最大、EU内ではオランダのロッテルダムに次ぐ第2の規模の港湾都市となっている。

ハンブルガー・ハーフェン・ロジスティクスをはじめ大小約500の海運関係企業が並び、コンテナ貨物用の広大な施設も設置され、港には造船のためと船の修理用の大きなドックもある。

コンテナ運送会社のハパクロイドの他、市内には、中小含む1800もの貿易会社が拠点を構え、鉄道とアウトバーンが整備されていて、港に揚げられた船の荷を直接中央ヨーロッパの諸都市に運べるルートが確立され、ドイツ最大の物流拠点ともなっている。

航空機のエアバス社は、この街に専用滑走路つき

航空機製造工場を保有しており、またハンブルク空港にはルフトハンザ航空の整備会社ルフトハンザ・テクニク社があり、世界中の約570の航空会社の飛行機がここで整備されている。

なお、スキンケア製品の有名ブランド「ニベア」のバイヤーズドルフ、高級万年筆ブランド「モンブラン」、通販のオットー・グループなど日本でも有名な会社の本拠地はこの街にある。

文化・芸術面ではメンデルスゾーン、ブラームスの生誕地としても知られ、またビートルズが世界的に有名になる前、下積み時代に活動していた街としても知られている。

6世紀にはすでに港湾都市として栄えていたこの街は、たびたびバイキングの襲撃を受け、12世紀後半にはデーン人やスラブ人からも襲撃されていましたが持ちこたえ、それまでに船舶航空事業・関税・経済に関する特権、さらに完全な自治と貨幣製造権も獲得し、ひとつの国並みの力を持つに至るが、16世紀には三十年戦争により商業と経済に大きな打撃を受け、その後ナポレオンにより街を占領され、1842年には大火災で市街地が被害を受け、1892年にはコレラの大流行で多数の死者が出し、そして第二次世界大戦での大規模空襲による壊滅的な破壊を経て、それでもその都度、復興し、幾たびもの苦難に面しながら、これまでどこの州にも属さず、誰からも支配を受けることなく自由と独立を維持してきたこの都市は、現在もハンブルクに住む人々の誇りとなっており、それを随所に感じさせる人と街である。

現地時間20時30分ごろ、ハンブルクに到着。お供のゴルフクラブも受け取り手配済みのタクシーで快適にホテルへ。21時30分過ぎにホテルに到着。空港からの道中、ロータリーの垂れ幕など一切無く、歓迎ムードなどは無かった。なるほどハンブルクの独立自尊の都市風土を感じた。

日本では真っ暗な時間なはずが、まだ明るい。これが白夜圏の夜か。

翌朝5月31日、本郷さんの会社の決算期の日に、朝食を済ませて朝7時から早速ゴルフへ。

かなり簡素な受付を済ませてパター練習もせずに直ぐにスタート！

ハンブルクは金曜日。車で35分の郊外のゴルフ場はガラガラかと思いきや、散歩がてらゴルフを楽しむ夫婦などが歩きでどんどん打って、グリーンもマークなんてしないでみんな同時にぱっぱとパターするペースにズンズン追い付かれ、オリンピックをゆっくり楽しむ間は無かったけど、戦略的なゴルフコースをみんな堪能した。

その後、隣町まで観光してから、たらふくのステーキを満喫してからホテルに帰り就寝。

6月1日

ロータリー国際大会の登録をしに地下鉄で会場へ。いよいよ開幕という雰囲気で大勢の各国からのロータリアンが参加していた。ターバンを巻いた一団、ポリオ撲滅のテーマのTシャツを着合わせた団体、チマチョゴリの一団、様々な人種の方々がロータリー活動に参加していることを実感出来た。

その後、市内観光。

世界遺産である倉庫街や、ドイツ語ガイドの観光船に乗ったり、ミニチュアワンダーランドなどを訪ねた。

小出さんのポケットーク、活躍出来ず残念。

6月2日

国際ロータリー大会の開会式に出場。

米国で始まったロータリー活動が、ドイツで世界大会が開催される平和的意義を、世界各国様々な人種からなるロータリアンが一堂に会して確認共有する。各国の企業経営者を中心とする方々がそれを共感する。それだけでも大変意義深く、ロータリー活動の素晴らしさを改めて実感した。

我々はその意義を十分に感じながら会場を後にし、観光へ。

ビートルズ縁のレストランでランチの後、ソ連の潜水艦を脱出した私は個人行動で、ハンブルク近郊にあるノイエングメ強制収容所跡地を訪ねた。とてもあの残酷な時間があったとは思えない穏やかで日常的な田園風景の中にそれはあった。広大な敷地と残されたレンガ造りの労働施設とコンクリートの高い壁。様々な国ごとのユダヤ人達の墓標には真新しい花束も手向けてあり、数万人の犠牲者の名前が並び事実であったことを語り継ぐ。改めて平和であり続ける意義を再確認出来た。

そして夜は、ガバナーズナイト！

国際ロータリー 2580 地区と 2790 地区合同による、ハンブルク最高ランクのフェアモントホテルで開催されたパーティーには在ハンブルク総領事の加藤喜久子氏やサクラの女王も参加され、また地区活動の仲間とも再会でき、思い出深い素晴らしい夜となった。

6月3日

ハンブルクを後にして、特急電車でケルンへ。炎天下、ゴルフクラブと大きなトランクをお供に、社内食堂のお姉様に怒鳴られながらビールを飲みながらの大移動。ケルン駅の前に立ちそびえる世界遺産のケルン大聖堂。ゴシック建築世界最大に圧巻。

6月4日

ケルンの高級ゴルフクラブでプレー！強運にも嵐は夜中を通り過ぎて最高の天気だった。加藤さんの独り勝ち。我々から巻き上げた賞金で黒の素敵なおロシャツを購入。大聖堂を見学して地ビールを堪能。

6月5日

ケルン観光。ローマ時代の遺跡も残る古い歴史を持つ街を、3人の息子を持つ素敵なおガイドのピタン千香さんと一緒に回り、創業700年の地ビールも堪能。

その後急ぎでフランクフルトへ移動。予約してあった列車がトラブルで運休となるも、別れたはずのガイドの千香さんが待っていて下さり、そのおかげで別の特急に乗り換え出来た。素晴らしいサポートに感謝。鉄道の終点フランクフルトは、金融街。これまでの街と違い高層ビルが立ち並び、戦後復興の方針を感じ取れる。

6月6日

フランクフルト観光、お城の様なワイナリーでお土産のワインを購入してからライン川下り。先史時代から交通の要衝であったライン川は世界遺産ともなっており、ワイナリーや古城が至る所にある。130mもの切り立った崖であるローレライは交通の難所として知られる。加藤さん思い出の倍賞千恵子のローレライを聞きながら下船。

13世紀から難攻不落を誇ったラインフェルス城のレストランでランチ。高級ホテルとしても利用されており、よく見るとロータリーのマーク発見！この様な田舎の観光地でもロータリアンが活動していることに感動した。

その後、古い街に立ち寄りつつ、この旅最初で最後の雨の中、ノーベル賞受賞者も輩出しているハイデルベルク大学のある、ハイデルベルク城を見学。様々な逸話のある美しいお城。世界一の大樽が水が危険視され代わりにワインを飲んだ歴史を伝える。小出さんのポケットーク、またもや活躍出来ず残念。

この旅最後の晩餐はホテル近郊にあるイタリアンレストランで巨大なピザを堪能。

6月7日最終日

出発までの時間にフランクフルト近郊を市内観光。ゲーテハウスを見学してから、最後のランチは加藤さんの貫徹力が実り、フランクフルトを一望できるマインタワー53階のレストラン。

ホテルに戻って、フランクフルト空港へ送迎され、現地時間18:10にフライト。時差は7時間。

6月8日土曜日

昼の12:15頃、羽田空港に無事到着。

「では明日の紫陽花祭りです！」とお別れ。

とても盛りだくさんの旅となり、改めて加藤さん、小出さん、そして旅のリーダー本郷さんに感謝いたします。

ロータリー活動の意義、ロータリアンとしてのあるべき姿勢、そして平和への祈りと平和であり続けるべきという信念を発見・再確認できる旅となりました。

ロータリー国際大会、参加する意義は大いにあると思います。

以上、報告を終えます。長文悪文にも関わらず、最後まで読んで下さり、有難うございました！

星野



6/5 ケルンの創業700年の地ビール「ジオン」にて、3人の息子を持つ素敵なガイドのピタン千香さんと一緒に



6/2 国際大会の様子



6/2 ハンブルク観光船から撮影した
ロータリポリオ撲滅の帆を掲げる客船



6/6 ラインフェルス城のホテルがロータリーの例会場に（右上の入り口に注目）



5/31 ハンブルクのゴルフ場にて



6/5 ケルンにて



6/2 国際大会開会式後のビートルズ縁の魚料理のレストランにて